

下関北九州道路 地域提言



下関北九州道路整備促進期成同盟会
 下関北九州道路建設促進協議会
 下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟
 下関北九州道路整備促進福岡県議会議員連盟
 下関北九州道路整備促進北九州市議会議員連盟
 下関北九州道路整備促進下関市議会議員連盟
 中国経済連合会
 (一社)九州経済連合会
 中国経済連合会・(一社)九州経済連合会関門連携委員会

下関北九州道路の早期整備に向けた地域提言

我々は、かねてより早期整備の要望を重ねてまいりましたが、先月、衆議院国土交通委員会にて、石井国土交通大臣は、「地域からの要望は十分に受け止めている。下関北九州道路について、その必要性を地域で検討いただき、ゼロベースで再整理する必要がある。」、「整備手法はPFIなどについても検討する必要がある。」と答弁されました。

この度、我々は、大臣の答弁を踏まえ、下関北九州道路の早期整備の必要性について、あらためて県、市、地元経済界で地域の考え方を再整理し、「地域提言」として取りまとめました。

つきましては、提言事項について、格別の御理解と御高配をいただきますようお願い申し上げます。

平成28年12月21日

下関北九州道路整備促進期成同盟会

顧問	衆議院議員	高村正彦	顧問	衆議院議員	井上貴博	顧問	衆議院議員	吉田宣弘
顧問	衆議院議員	岸信夫	顧問	衆議院議員	鬼木誠	顧問	衆議院議員	緒方林太郎
顧問	衆議院議員	河村建夫	顧問	衆議院議員	古賀篤	顧問	衆議院議員	河野正美
顧問	衆議院議員	榎屋敬悟	顧問	衆議院議員	宮内秀樹	顧問	参議院議員	松山政司
顧問	衆議院議員	古田圭一	顧問	衆議院議員	原田義昭	顧問	参議院議員	大家敏志
顧問	参議院議員	林芳正	顧問	衆議院議員	鳩山二郎	顧問	参議院議員	野田国義
顧問	参議院議員	江島潔	顧問	衆議院議員	藤丸敏	顧問	参議院議員	古賀之士
顧問	参議院議員	北村経夫	顧問	衆議院議員	麻生太郎	顧問	参議院議員	高瀬弘美
顧問	参議院議員	阿達雅志	顧問	衆議院議員	三原朝彦	顧問	参議院議員	秋野公造
			顧問	衆議院議員	山本幸三	顧問	参議院議員	河野義博
			顧問	衆議院議員	武田良太	顧問	参議院議員	自見はなこ
			顧問	衆議院議員	遠山清彦	顧問	参議院議員	大島九州男
			顧問	衆議院議員	濱地雅一			

参与	山口県議会	議長	畑原基成	参与	自由民主党福岡県支部連合会	会長	藏内勇夫		
参与	自由民主党	議員団	会長	新谷和彦	参与	自由民主党福岡県議団	会長	原口劍生	
参与	自由民主党	新生会	会長	岡村精二	参与	民進党・県政福岡県議団	会長	吉村敏男	
参与	公明党	山口県議団	会長	小泉利治	参与	公明党福岡県議団	団長	森下博司	
参与	民進・連合	の会	会長	西嶋裕作	参与	緑友会福岡県議団	会長	林裕二	
参与	自由民主党	県政クラブ	会長	新造健次郎	参与	福岡県議会	議長	中尾正幸	
参与	山口県議会	議会運営委員	長	友田有	参与	自由民主党福岡県議団	幹事長	松尾統章	
参与	下関市議会	議長	関谷博	参与	民進党・県政福岡県議団	筆頭副会長	富田徳二		
参与	下関市議会	副議長	戸澤昭夫	参与	公明党福岡県議団	壱岐和郎	堀大助		
参与	自由民主党	志誠会	会長	木本暢一	参与	福岡県議会	県土整備委員長	香原勝司	
参与	自由民主党	創世下関会	会長	亀田博	参与	北九州市議会	議長	戸町武弘	
参与	公明党	市議団	会長	浦岡昌博	参与	北九州市議会	副議長	山本眞智子	
参与	市民連合会	会長	菅原明	参与	北九州市議会	自由民主党・無所属の	議員団	会長	片山尹
				参与	ハートフル	北九州市議会	議員団	会長	世良俊明
				参与	北九州市議会	公明党	議員団	会長	吉河節郎

会長 山口県知事 村岡嗣政
副会長 下関市長 中尾友昭

副会長 福岡県知事 小川洋
副会長 北九州市長 北橋健治

下関北九州道路建設促進協議会

会長 (一社)九州経済連合会会長 麻生 泰
副会長 中国経済連合会副会長 福田 浩一
副会長 (一社)九州経済連合会副会長 張本 邦雄
副会長 下関商工会議所会頭 川上 康男
(山口県商工会議所連合会会頭)
副会長 北九州商工会議所会頭 利島 康司
副会長 福岡県商工会議所連合会会長 礪山 誠二

下関北九州道路整備促進山口県議会

議員連盟

会長 山口県議会議長 畑原 基成
副会長 自由民主党議員団会長 新谷 和彦
副会長 自由民主党新生会会長 岡村 精二
副会長 公明党山口県議団会長 小泉 利治
副会長 民進・連合の会会長 西嶋 裕作
副会長 自由民主党県政クラブ会長 新造 健次郎
幹事長 山口県議会議会運営委員長 友田 有

下関北九州道路整備促進福岡県議会

議員連盟

顧問 自由民主党福岡県支部連合会会長 藏内 勇夫
顧問 自由民主党福岡県議団会長 原口 剣生
顧問 民進党・県政福岡県議団会長 吉村 敏男
顧問 公明党福岡県議団団長 森下 博司
顧問 緑友会福岡県議団会長 林 裕二
会長 福岡県議会議長 中尾 正幸
副会長 自由民主党福岡県議団幹事長 松尾 統章
副会長 民進党・県政福岡県議団筆頭副会長 富田 徳二
副会長 公明党福岡県議団 壹岐 和郎
副会長 緑友会福岡県議団 堀 大助
事務局 福岡県議会県土整備委員長 香原 勝司

下関北九州道路整備促進北九州市議会

議員連盟

会長 北九州市議会議長 戸町 武弘
副会長 北九州市議会副議長 山本 眞智子
理事 北九州市議会自由民主党・無所属の会議員団会長 片山 尹
理事 ハートフル北九州市議会議員団会長 世良 俊明
理事 北九州市議会公明党議員団会長 吉河 節郎

下関北九州道路整備促進下関市議会

議員連盟

会長 下関市議会議長 関谷 博
副会長 下関市議会副議長 戸澤 昭夫
理事 自由民主党志誠会会長 木本 暢一
理事 自由民主党創世下関会長 亀田 博
理事 公明党市議団会長 浦岡 昌博
理事 市民連合会会長 菅原 明

中国経済連合会

会長 中国電力(株)代表取締役会長 荻田 知英
副会長 鳥取県商工会議所連合会会長 藤縄 匡伸
副会長 (株)鳥取銀行代表取締役会長 宮崎 正彦
副会長 (株)山陰合同銀行代表取締役会長 久保田 一朗
副会長 島根県商工会議所連合会会頭 古瀬 誠
副会長 (株)ミック代表取締役社長 宮脇 和秀
副会長 岡山県商工会議所連合会会長 岡崎 彬
副会長 岡山土地倉庫(株)取締役社長 末長 範彦
副会長 (株)中国銀行取締役頭取 宮長 雅人
副会長 マツダ(株)代表取締役会長 金井 誠太
副会長 (株)広島銀行代表取締役会長 角 廣 勲
副会長 広島県商工会議所連合会会頭 深山 英樹
副会長 山口県商工会議所連合会会頭 川上 康男
副会長 部興産(株)取締役会長 竹下 道夫
副会長 (株)山口銀行取締役会長 福田 浩一

(一社)九州経済連合会

会長 麻生セメント(株)会長 麻生 泰
副会長 九州旅客鉄道(株)相談役 石原 進
副会長 T O T O (株)会長 張本 邦雄
副会長 (株)佐賀銀行頭取 陣内 芳博
副会長 (株)大分銀行会長 姫野 昌治
副会長 沖縄電力(株)会長 石嶺 伝一郎
副会長 (株)肥後銀行頭取 甲斐 隆博
副会長 西日本鉄道(株)会長 竹島 和幸
副会長 (株)鹿児島銀行頭取 上村 基宏
副会長 (株)宮崎銀行会長 小池 光一
副会長 (株)福岡銀行頭取 柴戸 隆成
副会長 トヨタ自動車九州(株)会長 二橋 岩雄
副会長 九州電力(株)会長 貫 正義
副会長 (株)十八銀行頭取 森拓 二郎
副会長 (株)山口銀行頭取 吉村 猛

中国経済連合会・(一社)九州経済連合会

関門連携委員会

委員長 (株)山口銀行頭取 吉村 猛
副委員長 関門港湾建設(株)代表取締役社長 清原 生郎
副委員長 岡野バルブ製造(株)取締役会長 岡野 正敏

地域提言

1. 下関北九州道路の必要性

(1) 社会・経済的な関門地域の結びつき

- ・関門地域は、古くから対岸の両市が密接につながり、産業、経済、文化など、様々な面で緊密に交流・連携し、都市圏が形成されてきた。また、ヒトやモノが活発に行き交う要衝の地として今日まで栄えてきている。
- ・近年は、我が国の自動車をはじめとする産業・経済をリードする地域として、また、成長著しいアジアのゲートウェイとしての役割も期待されている。

産業 英仏に匹敵する自動車産業が集積

生活 約2 kmの海峡を挟んで120万人を超える都市圏を形成

防災 熊本地震時、自衛隊車両(約7000台)などが人命救助・支援物資を搬送

観光 歴史・文化遺産が多数、クルーズ船等によるインバウンド観光が増大

(2) 既存道路ネットワークの課題

① 国道2号・3号を中心とする渋滞発生

- ・関門地域においては、両市間を移動する交通のうち、約6割が下関～小倉以西に集中しており、門司周辺の国道2号・3号などで通過交通による慢性的な渋滞を発生させるとともに、大きく迂回したルートでの移動を強いられる(約50分(約20 km))など、地域間の交流・連携に大きな支障をきたしている。

※時間損失(ロス)は約124万時間/年

- ・関門地域が有するポテンシャルを活用し、地域の生産性の向上による国際競争力の強化や、アクセス性の向上による観光振興などのストック効果を最大限発揮し、さらなる自立的発展を進めるためには、国道2号・3号のバイパス機能の充実・強化を図ることが急務である。

② 関門トンネル等の事故・補修工事による通行止め

- ・本年4月に発生した「平成28年熊本地震」においては、約7,000台の自衛隊車両のほか、警察、消防、医療チームによる人命救助・支援物資の輸送が、本州から関門橋や関門トンネルを通して行われた。
- ・近い将来、南海トラフ地震等の発生が懸念される中、大規模災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築が強く求められている。
- ・しかしながら、「関門トンネル」と「関門橋」は、供用開始からそれぞれ58年、43年が経過しており、近年、施設の老朽化に伴う補修工事や、悪天候、車両事故等による通行制限が頻繁に発生している。
- ・このため、関門地域における安定的な交通機能の確保、ひいては本州と九州の連絡強化のため、代替機能の確保(リダンダンシーの確保)が喫緊の課題となっている。

(3) 下関北九州道路による効果と地域の発展

① 交通分散、時間短縮等による地域の生産性向上

- ・国道2号、3号のバイパス機能として下関北九州道路を整備することで、渋滞の著しい国道2号、3号、199号などから下関北九州道路への交通分散が図られ、渋滞している区間が減少するなど、地域の円滑な交通が確保される。
- ・また現在、下関市から北九州市間の所要時間は、関門トンネルを利用すると日中は約50分(約20km)かかっているが、下関北九州道路を整備することで、約25分短縮され、所要時間は約25分(約14km)と半分(走行距離は7割)となる。
- ・走行時間の短縮や走行経費の減少、交通事故の減少といった直接的な経済効果だけでも約2,000億円以上と試算される。
- ・観光圏域や生活圏域が拡大し、市民の日常交流の活発化や買い物利便性の向上、円滑な物流が確保され、地域の生産性向上による国際競争力強化につながる。

② アジアのゲートウェイとしての役割

- ・ 関門地域（下関市・北九州市）は、成長著しい東アジアの中心にあり、我が国のアジアに向けたゲートウェイとして最適なポジションである。
- ・ 九州・山口地域には、従来から製鉄や化学を代表とする素材産業を核として、自動車や半導体、精密機械産業なども大きな産業として成長してきた。
- ・ また、九州・山口地域が、自動車産業拠点として成長を遂げる中、中国や韓国をはじめとする対岸諸国においても、巨大な自動車生産拠点群の形成が進展している。対岸諸国では、日系企業（完成車・部品メーカー）の立地が進み、九州・山口地域との部品のやり取りが活発化している。
- ・ 自動車産業やその他の産業の成長を支えるには、拡大を続けるアジアとの物流の強化が不可欠であり、関門地域はアジアの物流ハブ（国際コンテナ貨物及び国際中継貨物の拠点）として充実・強化することが求められている。
- ・ また、関門地域及び周辺には、我が国を代表する観光資源がみられ、西日本の他の地域と周遊する観光ルートの形成により、大型クルーズ船によるアジアからの来訪者の増加が期待されている。
- ・ このように、アジアの活力を取り込み、成長を続けるため、関門地域は、アジアを含めた国内外の人流・物流に効率的に対応できる国際的窓口となることが求められている。

③ 下関北九州道路を活用した関門地域の将来構想

～循環型ネットワーク形成により、ソフト・ハードから好循環を確立し、活力ある関門地域を創生～

- ・下関北九州道路の整備により、関門海峡を取り巻く循環型道路ネットワークが形成される。このネットワークをハブとして最大限に活用し、各種施策を展開することで、地域の発展、活性化につながる事業を実施する。

1) **【交流循環】海峡を越えた一体的な経済・生活圏の更なる緊密化**

- ・自動車交通が往来の主流になった現在、下関、小倉の両都心間は約50分かかっているが、下関北九州道路が整備されれば、両都心間は約25分で結ばれることになり、特に心理的距離を感じる北九州市西部地域からのアクセスが大幅に改善することとなる。
- ・下関北九州道路の整備により、海峡間の往来が容易になる機をとらえ、一体的な“まち”として発展していくため、市民、行政、ビジネス等さまざまな場面での関係深化、緊密化を図り、新たなビジネスチャンス創出や企業活動の効率化につなげていく。

＜具体的取組＞

- リノベーションまちづくりや国家戦略特区を活用したエリアマネジメントの推進等を通じ、都心部（小倉・下関）のにぎわいを創出と、道路ネットワークとの相乗効果により、圏域全体の集客交流を促進していく。
- 市民間の交流を促進するため各種イベントを下関市・北九州市が共同で取組むと共に、子育て支援施設や図書館、美術館等公共施設相互利用の推進を図る。

2) **【産業循環】地域内外での産業連携促進、地域の産業基盤を強化**

- ・関門地域には、自動車や半導体、ロボット等、地域の基幹的産業が集積している。また北九州港や下関港、北九州空港といった物流拠点を擁し、拡大を続けるアジアとの物流（国際海上コンテナ及び国際航空貨物）を支える物流拠点としてアジアとの窓口となることが期待されている。
- ・下関北九州道路の整備により、両市間の物流の効率化が図られることから、両市域の基幹的産業のメーカーとサプライヤー間の連携が強化されることに加え、業種を越えた連携を支援することで新産業の創出に繋がるなど、産業基盤の強化が期待される。

＜具体的取組＞

- 自動車や半導体、ロボット等、地域の基幹的産業の振興を図るとともに、道路ネットワークによる物流の効率化、広域サプライチェーンの形成、これらを通じた企業の生産性の向上、競争力強化を図る。
- 物流系企業が集積する日明地区の物流機能を再構築し、北九州・下関圏域から東九州軸をカバーする高度物流ゾーンの形成を推進する。

3) 【観光循環】観光資源の有機的連携の深化

- ・近年、北九州港や下関港、北九州空港に発着する大型クルーズ船や国際航空旅客便、国際定期フェリーを活用し、アジア方面からのインバウンドが増加している。
- ・また関門地域及び周辺には、唐戸市場や門司港レトロ、九州・山口の世界遺産群、さらには世界的に有名となった角島など、我が国を代表する観光資源がある。現在は、各観光資源間の移動に時間がかかること等もあり、周遊観光ルートはまだ十分に形成されていない。
- ・下関北九州道路が整備されることで、道路の循環ネットワークの形成、移動時間の短縮が図られるため、これまで個々に存在していた観光資源を有機的に連携させ、周遊観光ルートの形成が可能となる。

＜具体的取組＞

- クルーズ船や国際定期フェリー、国際航空旅客便等の交通モードが集まる関門地区にインバウンドの受け入れのハブとなる観光周遊拠点を形成する。
- 観光周遊拠点を中心に、萩～八幡～三池の世界遺産ネットワークを構築するとともに、川棚・湯田温泉や小倉城など、日本の文化を感じる観光資源について、日本文化の紹介や多言語対応等、インバウンドへの対応を強化し、着地型観光を促進する。
- 地域一丸となった共同PRによる海外インバウンドの集客強化や、海外インバウンド対応施設の整備などにより、関門地域の魅力を最大限発揮し、大型クルーズ船や、国際定期フェリー、国際航空旅客便によるインバウンド観光（訪日観光）の増大につなげていく。

(4) 早期実現に関する地域の声

製造業界

- ・工場内の部品ストックは、半日分以下で部品が届かないとラインが止まってしまう。下関北九州道路が整備されると、定時性と速達性の向上により、ジャストインタイムの輸送の信頼性の向上、納品遅れリスクの回避による総人件費の抑制が期待され、生産性が向上する。 【自動車メーカー】
- ・下関北九州道路が整備されると、完成自動車の販売店への安定輸送や、部品調達先の選択肢の増加などが期待される。 【自動車メーカー】

物流業界

- ・北九州市と下関市との地域間の交通では、国道2号、3号、199号などが市内中心部や関門トンネル付近において渋滞している。また、両市間の移動には海峡があるため、迂回（遠回り）を強いられている。このため、輸送コストや貨物運賃の増加や、運転手に長時間労働など負荷をかけることになっている。 【輸送業者】
- ・1月の大雪で関門橋が通行止めになった際、関門トンネルへの迂回輸送を余儀なくされたが、フルトレーラーの通行許可を取得していなかったため、貨物を別のトラックに積み替える作業が発生し、余計な時間や人件費がかかった。 【自動車部品輸送業者】
- ・関門橋の通行止めで、四国の物流センターの納品時間（22時）に間に合わなかったため、輸送した貨物を返品され、廃棄代や輸送代が荷主（食品メーカー）の損失となった。また、返品となった貨物を持ち帰るため、帰りの便は予定していた貨物を輸送できず、多大な損失が生じた。 【食料品輸送業者】

観光業界

- ・現在の関門地域～山陰地方にかけては、九州方面から観光客が分散している傾向があり、下関北九州道路により、人の流れが往来しやすくなるだけでなく、周遊観光の新たなルートが形成される。エコタウン、スペースワールド、門司、下関、長府等の各観光資源が環状の道路を介して結ばれることになり、日帰りツアーが組みやすくなる。 【観光会社】

経済界(一般)

- ・これまでの調査研究の成果も活用し、PFI等の整備手法のあり方の調査にも積極的に貢献したい。 【経済界】

2. 早期整備のための整備手法の検討

① 早期整備に向けた課題について

- ・ 早期整備の観点や、現行の料金体系(関門トンネル・関門橋)とのバランスから、一般道路事業と有料道路事業を組み合わせることが適当

< 有料投資額の試算事例 (平成28年12月 下関北九州道路整備促進期成同盟会) >

■ 有料道路事業を前提に、事業収支をシミュレーション

	事業費	通行料金	維持管理費	返済期間
事業費・通行料金・返済期間を変動させて検討を行う	1,000億円 ～ 1,500億円	150円 ～ 280円	5億円/年	30年 ～ 50年

- ※事業費については、最近の施工事例(東京ゲートブリッジ)から想定
- ※料金については、関門トンネルと関門橋(ETC車)の料金で設定
- ※交通量については、2県2市で算出した将来交通量で設定
- ※借入金金利、維持管理費については、関門海峡道路建設促進協議会による試算(H24)の値で設定

【試算結果】

	ケース1	ケース2	ケース3
事業費	1,500億円	1,000億円	1,000億円
返済期間	30年	40年	50年
有料投資限度額	150～280億円 (10～18%)	190～340億円 (19～34%)	220～390億円 (22～39%)

- ・ 早期整備・公的資金軽減のためには、新技術・新工法採用によるコスト縮減・工期短縮が不可欠
- ・ P F I 的手法を含めた多様な整備手法についての検討が必要

② 今後に向けた必要な検討

- ・ 事業費、交通量の精度を高めるとともに、最適な事業手法や事業実施にあたってのリスクなど、より詳細な検討が必要

※詳細な検討：官民のリスク分担、民間のインセンティブ、民間資金調達等について、プレマーケットサウンディングの実施等により、民間事業者が参加可能なスキームの検討 等

3. まとめ

国、県、市、地元経済界が一体となって、以下について具体的な調査を進め、下関北九州道路の早期整備を図ること

- 1 下関北九州道路の「関門地域の道路網の中での位置づけ」について整理を行った上で、ルート・構造、交通量、車線数や採算性など、下関北九州道路の「基本要件」についての検討
- 2 「PFI的手法を含めた多様な整備手法」についての検討

以上、本会の総意に基づき、提言する。

平成 28 年 12 月 18 日

下関北九州道路整備促進期成同盟会
下関北九州道路建設促進協議会
下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟
下関北九州道路整備促進福岡県議会議員連盟
下関北九州道路整備促進北九州市議会議員連盟
下関北九州道路整備促進下関市議会議員連盟
中国経済連合会
(一社)九州経済連合会
中国経済連合会・(一社)九州経済連合会関門連携委員会

下関北九州道路整備促進期成同盟会 顧問

(山口県)

衆	議	院	議	員	高	村	正	彦
衆	議	院	議	員	岸	岸	信	夫
衆	議	院	議	員	河	村	建	夫
衆	議	院	議	員	榊	屋	敬	悟
衆	議	院	議	員	古	田	圭	一
参	議	院	議	員	林	島	芳	正
参	議	院	議	員	江	村	正	潔
参	議	院	議	員	北	達	経	夫
参	議	院	議	員	阿		雅	志

(福岡県)

衆	議	院	議	員	井	上	貴	博
衆	議	院	議	員	鬼	木	秀	誠
衆	議	院	議	員	古	賀	義	篤
衆	議	院	議	員	宮	内	二	樹
衆	議	院	議	員	原	田	太	昭
衆	議	院	議	員	鳩	山	朝	郎
衆	議	院	議	員	藤	丸	幸	敏
衆	議	院	議	員	麻	生	良	彦
衆	議	院	議	員	三	原	清	三
衆	議	院	議	員	山	本	雅	太
衆	議	院	議	員	武	田	宣	彦
衆	議	院	議	員	遠	山	林	一
衆	議	院	議	員	濱	地	太	弘
衆	議	院	議	員	吉	方	正	郎
衆	議	院	議	員	緒	野	政	美
衆	議	院	議	員	河	山	敏	司
参	議	院	議	員	松	家	国	志
参	議	院	議	員	大	田	之	義
参	議	院	議	員	野	賀	弘	士
参	議	院	議	員	古	瀬	公	美
参	議	院	議	員	高	野	義	造
参	議	院	議	員	秋	野	は	博
参	議	院	議	員	河	見	な	二
参	議	院	議	員	自	島	九	男
参	議	院	議	員	大		州	

下関北九州道路整備促進期成同盟会 参与

(下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟)

会 長	山 口 県 議 会 議 長	畑 原	基 成
副会長	自由民主党議員団会長	新 谷	和 彦
副会長	自由民主党新生会会長	岡 村	精 二
副会長	公明党山口県議団会長	小 泉	利 治
副会長	民進・連合の会会長	西 嶋	裕 作
副会長	自由民主党県政クラブ会長	新 造	健 次 郎
幹事長	山口県議会議会運営委員長	友 田	有

(下関北九州道路整備促進福岡県議会議員連盟)

顧 問	自由民主党福岡県支部連合会会長	藏 内	勇 夫
顧 問	自由民主党福岡県議団会長	原 口	剣 生
顧 問	民進党・県政福岡県議団会長	吉 村	敏 男
顧 問	公明党福岡県議団団長	森 下	博 司
顧 問	緑友会福岡県議団会長	林	裕 二
会 長	福 岡 県 議 会 議 長	中 尾	正 幸
副会長	自由民主党福岡県議団幹事長	松 尾	統 章
副会長	民進党・県政 福岡県議団筆頭副会長	富 田	徳 二
副会長	公 明 党 福 岡 県 議 団	壹 岐	和 郎
副会長	緑 友 会 福 岡 県 議 団	堀	大 助
事務局長	福岡県議会県土整備委員長	香 原	勝 司

(下関北九州道路整備促進北九州市議会議員連盟)

会 長	北 九 州 市 議 会 議 長	戸 町	武 弘
副会長	北 九 州 市 議 会 副 議 長	山 本	眞 智 子
理 事	北九州市議会自由民主党・無所属の会議員団会長	片 山	尹
理 事	ハートフル北九州市議会議員団会長	世 良	俊 明
理 事	北九州市議会公明党議員団会長	吉 河	節 郎

(下関北九州道路整備促進下関市議会議員連盟)

会 長	下 関 市 議 会 議 長	関 谷	博
副会長	下 関 市 議 会 副 議 長	戸 澤	昭 夫
理 事	自由民主党志誠会会長	木 本	暢 一
理 事	自由民主党創世下関会長	亀 田	博
理 事	公 明 党 市 議 団 会 長	浦 岡	昌 博
理 事	市 民 連 合 会 長	菅 原	明

下関北九州道路整備促進期成同盟会会員

会 長	山 口 県 知 事	村岡 嗣政
副会長	福 岡 県 知 事	小川 洋
副会長	北 九 州 市 長	北橋 健治
副会長	下 関 市 長	中尾 友昭
会 員	中国経済連合会会長	苅田 知英
会 員	山口県商工会議所連合会会頭	川上 康男
会 員	下関商工会議所会頭	川上 康男
会 員	下関市商工会会長	杉井 幸太郎
会 員	(公社)日本青年会議所中国地区 山口ブロック協議会会長	林 勲
会 員	(一社)下関青年会議所理事長	重井 鉄平
会 員	(一財)下関21世紀協会理事長	徳毛 伸自
会 員	山口県市長会会長(山口市長)	渡辺 純忠
会 員	山口県町村会会長(平生町長)	山田 健一
会 員	(一社)九州経済連合会会長	麻生 泰
会 員	福岡県商工会議所連合会会長	磯山 誠二
会 員	北九州商工会議所会頭	利島 康司
会 員	(公社)日本青年会議所九州地区 福岡ブロック協議会会長	村上 忠輔
会 員	(一社)北九州青年会議所理事長	桑島 清太郎
会 員	(公財)北九州活性化協議会会長	西村 韶道
会 員	福岡県市長会会長(久留米市長)	檜原 利則
会 員	福岡県町村会会長(大任町長)	永原 讓二

下関北九州道路建設促進協議会会員

会 長	(一社)九州経済連合会会長	麻生	泰
副会長	中国経済連合会副会長	福田	浩一
副会長	(一社)九州経済連合会副会長	張本	邦雄
副会長	下関商工会議所会頭 (山口県商工会議所連合会会頭)	川上	康男
副会長	北九州商工会議所会頭	利島	康司
副会長	福岡県商工会議所連合会会長	磯山	誠二
理 事	(株)山口銀行取締役頭取	吉村	猛
理 事	サンデン交通(株)取締役社長	河内	秀夫
理 事	林兼産業(株)取締役社長	熊山	忠和
理 事	宇部興産(株)執行役員	玉田	英生
理 事	(株)トクヤマ代表取締役社長執行役員	横田	浩
理 事	新日鐵住金(株)執行役員八幡製鐵所長	佐藤	直樹
理 事	(株)安川電機代表取締役会長	津田	純嗣
理 事	黒崎播磨(株)代表取締役社長	伊倉	信彦
理 事	T O T O (株)代表取締役会長	張本	邦雄
理 事	中国電力(株)代表取締役社長執行役員	清水	希茂
理 事	九州電力(株)代表取締役社長	瓜生	道明
理 事	西日本鉄道(株)代表取締役会長	竹島	和幸
理 事	九州旅客鉄道(株)相談役	石原	進
理 事	(一社)九州経済連合会専務理事	中川	正裕
理 事	(株)神戸製鋼所長府製造所所長	岡野	康司
理 事	山九(株)代表取締役会長	中村	公一
理 事	(一社)日本プロジェクト産業協議会会長	宗岡	正二
監 事	関門港湾建設(株)代表取締役社長	清原	生郎
監 事	(株)福岡銀行取締役頭取	柴戸	隆成

顧問	福岡県知事	小川	洋
顧問	山口県知事	村岡	嗣政
顧問	北九州市市長	北橋	健治
顧問	下関市市長	中尾	友昭
参与	(一社)下関青年会議所理事長	重井	鉄平
参与	(一社)北九州青年会議所理事長	桑島	清太郎
参与	(一財)下関21世紀協会理事長	徳毛	伸自
参与	(公財)北九州活性化協議会会長	西村	韶道
参与	福岡経済同友会代表幹事	貫	正義
参与	福岡経済同友会代表幹事	宇佐見	昇
参与	福岡経済同友会代表幹事	久保田	勇夫
参与	山口経済同友会代表幹事	長野	壽
参与	山口経済同友会代表幹事	藤田	剛二

下関北九州道路整備促進山口県議会議員連盟会員

会 長	畑原 基成	会 員	藤生 通陽
副会長	新谷 和彦	会 員	二木 健治
副会長	岡村 精二	会 員	河野 亨
副会長	小泉 利治	会 員	島田 教明
副会長	西嶋 裕作	会 員	吉田 充宏
副会長	新造 健次郎	会 員	星出 拓也
幹事長	友田 有	会 員	笠本 俊也
幹 事	塩満 久雄	会 員	江本 郁夫
幹 事	林 哲也	会 員	篠崎 圭二
幹 事	平岡 望	会 員	俵田 祐児
幹 事	高瀬 利也	会 員	吉井 利行
幹 事	西本 健治郎	会 員	森中 克彦
幹 事	先城 憲尚	会 員	田中 文夫
幹 事	曾田 聡	会 員	石丸 典子
監 事	藤井 律子	会 員	上岡 康彦
監 事	橋本 尚理	会 員	秋野 哲範
会 員	柳居 俊学	会 員	井上 剛
会 員	守田 宗治	会 員	山手 康弘
会 員	河村 敏夫	会 員	合志 栄一
会 員	榎本 利光	会 員	戸倉 多香子

下関北九州道路整備促進北九州市議会議員連盟会員

会 長	戸 町	武 弘	会 員	白 石	一 裕
副会長	山 本	眞智子	会 員	浜 口	恒 博
理 事	片 山	尹	会 員	中 村	義 雄
理 事	世 良	俊 明	会 員	森 本	由 美
理 事	吉 河	節 郎	会 員	森	浩 明
会 員	田 仲	常 郎	会 員	三 宅	まゆみ
会 員	西 田	一	会 員	福 島	司
会 員	木 村	年 伸	会 員	長 野	敏 彦
会 員	村 上	幸 一	会 員	松 井	克 演
会 員	後 藤	雅 秀	会 員	桂	茂 実
会 員	日 野	雄 二	会 員	木 下	幸 子
会 員	新 上	健 一	会 員	岡 本	義 之
会 員	香 月	耕 治	会 員	成 重	正 丈
会 員	中 島	慎 一	会 員	本 田	忠 弘
会 員	佐々木	健 五	会 員	渡 辺	徹
会 員	井 上	秀 作	会 員	村 上	直 樹
会 員	渡 辺	均	会 員	木 畑	広 宣
会 員	奥 村	祥 子	会 員	松 岡	裕 一 郎
会 員	鷹 木	研 一 郎	会 員	八 木	徳 雄
会 員	佐 藤	茂	会 員	加 藤	武 朗
会 員	宮 崎	吉 輝	会 員	荒 木	学
会 員	上 野	照 弘	会 員	吉 村	太 志
会 員	吉 田	幸 正	会 員	平 原	潤
会 員	田 中	元	会 員	三 原	征 彦
会 員	奥 村	直 樹	会 員	山 本	真 理
会 員	大久保	無 我	会 員	佐 藤	栄 作

下関北九州道路整備促進下関市議会議員連盟会員

会 長	関 谷 博
副会長	戸 澤 昭夫
理 事	木 本 暢一
理 事	亀 田 博
理 事	浦 岡 昌博
理 事	菅 原 明
会 員	福 田 幸博
会 員	田 辺 よし子
会 員	林 真一郎
会 員	平 岡 泰彦
会 員	林 透
会 員	田 中 義一
会 員	香 川 昌則
会 員	安 岡 克昌
会 員	小 熊 坂 孝司
会 員	村 中 克好
会 員	藤 村 博美
会 員	松 田 英二
会 員	吉 田 真次
会 員	江 村 卓三
会 員	井 川 典子
会 員	板 谷 正
会 員	恵 良 健一郎
会 員	平 田 陽道
会 員	前 東 直樹
会 員	酒 本 哲也

中国経済連合会会員

会 長	中国電力(株)代表取締役会長	苅田	知英
副会長	鳥取県商工会議所連合会会長	藤縄	匡伸
副会長	(株)鳥取銀行代表取締役会長	宮崎	正彦
副会長	(株)山陰合同銀行代表取締役会長	久保田	一朗
副会長	島根県商工会議所連合会会頭	古瀬	誠
副会長	(株)ミック代表取締役社長	宮脇	和秀
副会長	岡山県商工会議所連合会会長	岡崎	彬
副会長	岡山土地倉庫(株)取締役社長	末長	範彦
副会長	(株)中国銀行取締役頭取	宮長	雅人
副会長	マツダ(株)代表取締役会長	金井	誠太
副会長	(株)広島銀行代表取締役会長	角廣	勲
副会長	広島県商工会議所連合会会頭	深山	英樹
副会長	山口県商工会議所連合会会頭	川上	康男
副会長	宇部興産(株)取締役会長	竹下	道夫
副会長	(株)山口銀行取締役会長	福田	浩一

中国経済連合会
会員数 693(H28.10 現在)

(一社)九州経済連合会会員

会長	麻生セメント(株)会長	麻生 泰
副会長	九州旅客鉄道(株)相談役	石原 進
副会長	T O T O (株)会長	張本 邦雄
副会長	(株)佐賀銀行頭取	陣内 芳博
副会長	(株)大分銀行会長	姫野 昌治
副会長	沖縄電力(株)会長	石嶺 伝一郎
副会長	(株)肥後銀行頭取	甲斐 隆博
副会長	西日本鉄道(株)会長	竹島 和幸
副会長	(株)鹿児島銀行頭取	上村 基宏
副会長	(株)宮崎銀行会長	小池 光一
副会長	(株)福岡銀行頭取	柴戸 隆成
副会長	トヨタ自動車九州(株)会長	二橋 岩雄
副会長	九州電力(株)会長	貫 正義
副会長	(株)十八銀行頭取	森 拓二郎
副会長	(株)山口銀行頭取	吉村 猛

(一社)九州経済連合会
会員数 1012(H28.6 現在)

中国経済連合会・(一社)九州経済連合会関門連携委員会委員

委員長 ㈱山口銀行取締役頭取 **吉村 猛**

副委員長 関門港湾建設㈱代表取締役社長 **清原 生郎**

副委員長 岡野バルブ製造㈱取締役会長 **岡野 正敏**

(中国経済連合会・(一社)九州経済連合会)

委員 宇部興産㈱取締役会長 **竹下 道夫**

委員 サンデン交通㈱代表取締役社長 **河内 秀夫**

委員 ㈱シモセン代表取締役 **村上 博史**

委員 下関商業開発㈱代表取締役社長 **吉田 実**

委員 ㈱長府製作所代表取締役会長 **川上 康男**

委員 ㈱安成工務店代表取締役 **安成 信次**

委員 山口合同ガス㈱取締役会長 **林 泰四郎**

(中国経済連合会)

委員 東海東京証券㈱岡山支店西日本営業部長 **衣笠 英雄**

委員 東亜建設工業㈱中国支店下関営業所長 **寄本 修司**

委員 日本貨物鉄道㈱関西支社広島支店支店長 **依田 敦**

委員 広島駅弁当(株)経営企画室長 **中島 悦嗣**

委員 関光汽船㈱代表取締役社長 **山本 一清**

委員 広成建設㈱山口支店執行役員支店長 **安田 憲彰**

委員 下関商工会議所副会頭 **北村 徹**

委員 一般財団法人下関21世紀協会理事長 **徳毛 伸自**

委員 大新土木㈱山口営業所所長 **木村 孝**

委員 富士商㈱代表取締役社長 **藤田 剛二**

委員 ワイエム証券㈱代表取締役社長 **西原 克彦**

((一社)九州経済連合会)

委員	(株)財界九州社代表取締役社長	山口	真一郎
委員	(株)ニチリウ永瀬代表取締役社長	武谷	俊一
委員	パシフィックコンサルタンツ(株)九州支社支社長	大本	修
委員	福岡北九州高速道路公社理事長	山中	義之
委員	明倫国際法律事務所代表パートナー弁護士	田中	雅敏
委員	(株)井筒屋代表取締役社長	影山	英雄
委員	(株)北九州経済研究所代表取締役	有富	之信
委員	北九州工業高等専門学校校長	塚本	寛
委員	公立大学法人北九州市立大学外国語学部教授	中野	博文
委員	北九州商工会議所事務局長	二郎丸	聡夫
委員	国立大学法人九州工業大学理事・副学長	延山	英沢
委員	九州電力(株)北九州支社執行役員支社長	廣渡	健
委員	黒崎播磨(株)代表取締役社長	伊倉	信彦
委員	山九(株)常務執行役員九州エリア長	早川	陽一
委員	学校法人産業医科大学理事長	森山	寛
委員	新電電協力事業協同組合代表理事	白石	伸夫
委員	新日鐵住金(株)執行役員八幡製鐵所長	佐藤	直樹
委員	(株)ゼンリンプリンテックス取締役会長	大迫	益男
委員	第一交通産業(株)代表取締役社長	田中	亮一郎
委員	高藤建設(株)代表取締役社長	高藤	元太郎
委員	T O T O (株)代表取締役会長	張本	邦雄
委員	日産自動車九州(株)代表取締役社長	荒井	孝文
委員	ボングルメ(株)代表取締役社長	島内	和行
委員	(株)安川電機代表取締役会長	津田	純嗣
委員	(株)菊谷茂吉商店代表取締役社長	菊谷	茂吉
委員	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学学長	森田	廣
委員	公立大学法人下関市立大学 理事長	荻野	喜弘
委員	公立大学法人下関市立大学 キャリア委員会委員長	村田	和博
委員	公立大学法人下関市立大学 地域共創センター長	難波	利光
委員	(株)東武住販代表取締役社長	荻野	利浩
委員	林兼産業(株)取締役社長	熊山	忠和
委員	富士商(株)代表取締役会長	藤田	敏彦
委員	三菱重工業(株)下関造船所所長	北村	徹
委員	国立大学法人山口大学理事・副学長	田中	和広

